

## 第37回麻布環境科学研究会 市民公開講座3

## 相模原市における食環境整備の取り組み ～生涯にわたり健康でいきいきと暮らす姿を目指して～

工藤 佳奈

相模原市 健康福祉局 保健所 健康増進課

平成16年、厚生労働省において「健康づくりを支援する食環境整備」の検討会が行われ、その後、食環境整備が積極的に推進されるようになった。食環境整備とは、個人が健康的な食生活を営むために、“健康的な食物入手がしやすい環境を整える”ことや、“健康、栄養・食生活に関する正しい情報を的確に得られる状況を作り出す”ことである。

健康日本21(第2次)においても栄養・食生活の分野の中で食環境が位置づけられており、本市においても個人が生涯にわたり健康でいきいきと暮らすことができるよう、食環境整備の観点からさまざまな取り組みを行っている。その取り組みの内容について一部を以下に示す。

### 【健康づくり応援店普及事業】

市民が外食店などにおいて安心して食事をすることができる環境を整備し、市民が栄養に関する情報を得て、自らの食生活が改善できるようにするための環境づくりを目指すことを目的とし健康づくり応援店普及事業を実施している。

栄養成分表示や、健康に配慮したメニューの設定、栄養情報の提供、終日禁煙等を行っている外食店を健康づくり応援店として登録しており、現在相模原市内に約60店舗ある。

### 【特定給食施設等指導及び支援】

食環境の基盤整備の一環として、各給食施設が健康増進法に基づく適切な栄養管理を実施し、よりよい給食運営や食を通じて利用者の健康増進を推進することを目的とし、指導及び支援を行っている。

現在、特定給食施設等は相模原市内に約370施設ある。施設種別は、学校、病院、老人保健施設、老人福祉施設、児童福祉施設、事業所等とさまざまであるため、各施設の利用者の特性に応じた栄養管理を実施することができるよう、個別巡回指導や講習会の開催等を行っている。

### 【食育推進のネットワークの構築】

地域に密着した継続的な食育活動を展開するためには、家庭・地域・教育・保育・生産・流通・消費・ボランティア団体などの各分野の団体や関係者が共通認識を持ち、連携して活動することが必要となる。

日々の生活の中で健全な食生活の実践が継続的に行えるよう、相模原市では地域の様々な食育関係者・団体とネットワークを作り、食育の推進に取り組んでいる。